

別紙. リニア利用者プロフィール分析マトリックス

<前提条件>

- ・運賃は新幹線と同額か少し上回る程度
- ・運賃形態には、通学・通勤定期があること

黒字 ...既存需要からの移行
朱字 ...新たな需要(変化小)
赤字 ...新たな需要(変化大)

想定される リニア利用者		県外 ⇒ 県内	県内 ⇒ 県外	備考
ビジネスマン		<ul style="list-style-type: none"> ・現在「あずさ・かいじ」等在来線に乗降しているビジネスマン ・首都圏、名古屋・大阪圏の企業は、山梨を新たな市場と捉え、半日・日帰り営業・取引をするビジネスマン 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在「あずさ・かいじ」等在来線に乗降しているビジネスマン ・山梨企業において、首都圏等を新たな市場と捉え、半日・日帰り営業・取引をするビジネスマン 	<ul style="list-style-type: none"> ・支社・支店機能が縮小廃止の方向で整理されていく可能性が高い
観光客	国内	<ul style="list-style-type: none"> ・現在「あずさ・かいじ」等在来線に乗降している大半の観光客(ゆっくり景色/電車の旅を楽しむ層は在来線) ・日帰りニーズの高いファミリー層等が自然散策や日帰り温泉などを楽しむ 	<ul style="list-style-type: none"> ・首都圏(TDL等)や関西圏(USJ等)への観光客(首都圏は時間短縮、関西圏は直接アクセスが確立することによる需要増) 	
	海外	<ul style="list-style-type: none"> ・短期滞在型の需要、特に人気の高いゴールデンルート(東京⇒箱根/富士山⇒大阪)を数日で観光する弾丸系ツアー客(箱根/富士山を、山梨/富士山にすること) 	<ul style="list-style-type: none"> ・羽田へのアクセス向上による海外旅行客の増 	
通勤・通学者		<ul style="list-style-type: none"> ・山梨への就学に興味を示さなかった学生 ・首都圏に単身赴任しているビジネスマン ・首都圏企業のデータセンタ等が誘致できれば、新たな通勤需要を創造 	<ul style="list-style-type: none"> ・親元を離れるのが心配な学生(特に女性) ・単身赴任(首都圏)から自宅通勤となるビジネスマン ・首都圏が勤め先であるが、地方(山梨)の居住を希望する家族 	
生活者		—	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、あずさ・かいじ等の在来線に乗降している生活者(新宿方面、東京西エリア中心) ・銀座等でのファッション系のショッピング需要、美容室/エステなど、比較的富裕な女性層 	

別紙. 山梨・甲府の街づくりの方向性(提言まとめ)

青字 ……D.C.T.P.「甲府グランドデザイン2010」で提言した内容

想定される リニア利用者		提言1 リニア駅の位置づけ	提言2 街づくりの方向性	備考
ビジネスマン		<ul style="list-style-type: none"> ・甲府市街地が山梨における営業・取引の中心 ・時間を惜しむビジネスマンのために、リニア駅と甲府市街地までの短時間での動線の確立が必要 ⇒リニア駅は甲府市街地との連結機能 	—	
観光客	国内	<ul style="list-style-type: none"> ・リニア駅から主要観光地(清里、石和等)への直接アクセスする動線の確立が必要 ⇒リニア駅は、主要観光地への交通拠点機能、及び山梨全体のハブである甲府への誘導機能 	<ul style="list-style-type: none"> ・甲府を山梨の玄関口(ハブ拠点)として捉え、山梨全体の大きな魅力をPRしていく 	<ul style="list-style-type: none"> ・リニア実験線や大月リニアセンター等の施設を有効活用し国内外の観光客を誘致
	海外	<ul style="list-style-type: none"> ・リニア駅から富士山への直接アクセスする動線を確立 ⇒リニア駅は、主要観光地への交通拠点機能 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴールデンルートに山梨/富士山を経由させるための海外へのPR ・外国人観光客が甲府市街地に来るための大型駐車場の整備 	
通勤・通学		<ul style="list-style-type: none"> ・通勤、通学者は、総じて甲府駅を中心とした既存交通網を利用する可能性が高いため、甲府駅との通勤・通学時間帯に合わせた動線の確立 ⇒リニア駅は甲府駅との連結機能 	<ul style="list-style-type: none"> ・首都圏からの通学チャンスを活かすため、山梨の大学や専門学校等が首都圏にない特色を出すこと ・首都圏企業の郊外にある機能(データセンタ等)をトップセールス等で山梨に誘致 	
生活者		<ul style="list-style-type: none"> ・甲府駅を中心とした既存交通網を利用してリニア駅に行く場合と、直接自家用車でリニア駅に行く場合がある ⇒前者はリニア駅は甲府市街地との連結機能 ⇒後者は駐車場整備のみ必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・甲府中心市街地の空洞化防止に向け、「総合生活エリア」を設定し、生活者にとって魅力ある街づくりを進めていくこと 	
結論		<ul style="list-style-type: none"> ・リニア駅は、甲府駅との連結機能と主要観光地への交通拠点としての位置づけが適切 ⇒横内知事の「バスターミナル機能、空港的整備」との考え方を支持 	<ul style="list-style-type: none"> ・「甲府グランドデザイン2010」の提言内容をベースに、リニア開通の要素を加味して、今後も甲府の街づくりを進めていくべきである 	